

## 2020年度 第7回総合診療専門医検討委員会（通算26回） 議事録

開催日時 令和2年11月5日（木）18時00分～19時30分

開催場所 WEBまたは日本専門医機構 会議室

出席者 委員長 羽鳥 裕（WEB）  
副委員長 有賀 徹（WEB） 神野 正博（WEB） 生坂 政臣（WEB）  
委員 金丸 吉昌（WEB） 清水 俊明（WEB） 竹村 洋典（WEB）  
田妻 進（WEB） 野村 英樹（WEB） 前野 哲博（WEB）  
山田 隆司（WEB） 渡辺 毅（WEB）  
欠席者 委員 有岡 宏子 石松 伸一 北村 聖  
横山 彰仁 （五十音順／敬称略）

出席者 理事長 寺本 民生（WEB）  
監事 松原 謙二

オブザーバー 厚生労働省 佐野 隆一郎（WEB）  
事務局 堀部 真人 他

開会にあたり、寺本民生理事長より挨拶があった。認定試験実施に向け準備を進めるとともに、総合診療領域のキャリアパスについても明示できるよう議論も進めていきたいとの話があった。

### 議事次第

- I. 第6回総合診療専門医検討委員会（10月1日開催）議事録の確認（資料0）
  - ・羽鳥委員長より、第6回の総合診療専門医検討委員会の議事録案が提示され、承認された。
- II. 協議事項
  1. 総務部会より
    - 1) 総合診療専門研修プログラム整備基準の改訂について
      - ・神野副委員長より以下3件の整備基準の改訂について、総務部会において審議を行い承認されたことの説明がなされた。うち、1,2については前回第6回委員会で協議承認された事項の整備基準改訂であることの説明があり、承認された。3の学会発表、論文発表の修了要件について、事務局より2018年度研修開始者に対する1年間の猶予と、付随する申請用紙書式はプログラム部会において審議を行い承認されている旨の説明がなされ、承認された。
        - 1-小児科研修における救急研修に関する整備基準改訂について
        - 2-特任指導医の任期についての整備基準への追記と文言修正
        - 3-研究に関する修了要件について（整備基準改訂案含む）
  2. システム部会より
    - 1) GRSの改修の進捗状況について
      - ・野村委員より、JCS社より提示されたGRSシステム開発追加機能と見積金額について説明があった。寺本理事長より可及的速やかにすすめるべく財務委員会への提出と、あわせて相見積もりを提示するよう依頼があり対応することとなった。有賀副委員長、野村先生より来年3月までに一部機能を改修対応し、円滑な研修を進めたいとの意向が示された。

### 3. プログラム認定関連について

- ・有賀副委員長より下記1から7までについて説明があり、プログラム部会のメール審議において承認済であることが報告された。
- ・7の問い合わせ②の回答で、へき地、医療資源の乏しい地域での研修において指導医が不在であっても質を担保できることで認められるが、実際の研修で担保できているかをプログラム統括責任者が確認することが条件、と回答することとした。

1-専門研修修了時に機構へ提出するものについて

2-募集定数の増員について

3-中断届（4件）／移籍申請書（1件）

4-年度途中でのカリキュラム制への移行について

5-連携施設の追加申請

6-新規開院施設の追加申請

7-十和田市立中央病院のプログラムからの問い合わせについて

- ・8) 管理施設としての大学病院の要件について

（全国大学病院総合診療部門連絡協議会からの要望書）

生坂副委員長より、管理施設としての大学病院の要件について全国大学病院総合診療部門連絡協議会からの要望書とアンケートとともに提案があった。

基幹施設としてプログラムを申請できる病院は入院患者20名／月となっているが、総合診療Ⅱのみでは該当する病院がほとんどなくなってしまうこと、また猶予期間が平成35年までになっていることについて、問題提起があり議論がなされた。

総合診療Ⅰも病床に加える病棟コンサルテーションで回避する要望書の紹介や、20床を変更して5床としてさらに病棟コンサルテーションを認める案などが出された。

寺本理事長、有賀副委員長、生坂副委員長で人選をし、小委員会をつくって協議することとなった。

### 4. 連携部会より

- ・内科とのダブルボード調整再開について有賀副委員長より10月21日に開催した機構内の打ち合せ概要の説明があり、これをもとに連携部会内科担当の石丸部会員が日本内科学会提出する文書案を作成中であることが報告された。この文書をもとに日本内科学会と相談の会合を設けることが了承された。

### 5. 研修部会より

生坂副委員長より、以下4件につき研修部会において審議を行い承認されたことが説明され、承認された。

1-特任指導医認定証（案）ひな型について

- ・案②が承認された。

2-特任指導医(8) 都市医師会推薦状について

- ・地区医師会からの推薦状は、「日医かかりつけ医機能研修制度」修了者などの条件を付帯せず、推薦することのみを記載した書式とすることとなった。

3-共通講習について

- ・承認された。

4-第3回特任指導医・プログラム統括責任者講習会開催について

- ・開催することが承認された。

### 6. その他

1-内科系学会社会保険連合加盟について

- ・羽鳥委員長より、総務部会の塚田部会員より議案書が提示されたことが説明され、今後総務部会で議論をすすめていくことが承認された。

2-日本専門医機構概報について

- ・事務局より令和2年度の案が提示され、プログラム部会長の大平先生および総務部会で確認して進めることが承認された。

### Ⅲ. 報告事項

1. 総部部会より
  - ・神野副委員長より、第1回総務部会開催について議事概要をもって報告がなされた。
2. 広報部会より
  - ・神野副委員長より、第1回広報部会開催報告がなされた。事務局より、機構に寄せられた質問をまとめたFAQページのリニューアルについて資料のイメージ図を用いて説明がなされ、早々に対応する旨報告がなされた。また、総合診療のホームページのリニューアルについても検討を進めていることが報告された。
3. 認定・更新部会より
  - ・竹村委員より、第1回認定・更新部会開催報告がなされた。また、機構のプログラム整備指針(第三版2020年2月版)における「専門医の認定・更新」に関する補足説明について、総合診療領域として回答した(案)が提示され報告された。
4. 研修部会より
  - ・生坂副委員長より、以下2点報告された。
    - 1-特任指導医・プログラム統括責任者講習会修了証発行について、6月、8月開催分について発行したことが報告された。
    - 2-アンケート集計結果報告
      - ・第2回特任指導医・プログラム統括者責任者講習会
      - ・第2回プログラム統括責任者会議
      - ・第1回専攻医説明会
5. 認定試験部会より
  - ・生坂副委員長より、第1回認定試験部会開催報告がなされた。試験方式についてC B T方式、面接試験方法はオンライン形式で検討されていることが報告された。また、小児科、救急領域の試験問題作成の方法は、既に依頼済である内科領域と同様に、領域に依頼することで進めている旨報告された。  
今後を見据えて信頼性が高く動画や音声にも対応可能な業者が必要となるため、A社が第1候補となることが確認された。
6. テキスト部会より
  - ・生坂副委員長より、テキスト作成について、原稿は全て揃い、発行に向けて準備中との報告がなされた。
7. 専攻・指導医支援部会より
  - ・生坂副委員長より、以下3件の報告がなされた。
    - 1-11月29日開催の第2回研修医説明会について、募集を開始した旨報告された。
    - 2-第1回専攻医・指導医支援部会開催報告
    - 3-第1回研修医説明会アンケート集計結果
8. その他
  - ・羽鳥委員長より、日本緩和医療学会より、総合診療領域のサブスペシャリティについて今後協議したい旨の文書があったことの共有がなされた。
  - ・事務局の担当について一覧資料として共有された。
  - ・野村委員より、部会審議から、総務部会を通して委員会決定に至るまでの効率的な進め方について問題提起された。委員長と事務局で検討し回答することとなった。